



野々市町文化協会

だより

第9号

野々市町文化協会
 会長 谷下 通夫
 発行人 谷下 通夫
 事務所 野々市町中央公民館内
 野々市町本町2丁目1-20
 TEL (0762) 48-0521



ごあいさつ

野々市町文化協会会長
谷下 通夫

暑さ厳しき季節となりました。町民の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。先の椿まつり'96は「日本椿まつり」と併せて行われ、おかげさまで、成功裏に終了いたしました。ここにあらためて町民の皆様方に厚く御礼申し上げます。

さて、文化協会は昭和六十一年度に発足以来、今年度で十周年を迎えました。この間、協会の諸先輩の方々をはじめ町民各位の皆様のご理解、ご尽力により文化協会としての基盤も徐々に整備され、加盟団体も十五を数えるにいたりました。ここに皆様のご努力に対し、重ねて深く感謝を申し上げます。

ご承知のように、近年は様々な社会構造の急激な変化と相俟って、人々のライフスタイルやライフパターンも大きく変わりつつあります。生涯の各期にわたり、一人一人が、それぞれの個性と能力を最大限に伸ばし、生きがいのある豊かで充実した人生を享受する必要があります。そのための体制や機会を提供できるのが、文化協会の活動だと思います。各種文化団体の連合体である文化協会の活動が、町の文化と住民福祉の向上、強いては「心の豊かさ」に大きく寄与し得るものであると確信しているところであります。

十周年の節目にあたり、さらに加盟団体間の連携を密にし、より幅広く、より質の高い活動ができるよう、努力を惜しまぬ所存でございます。今後とも、町民の皆様方、町当局並びにご関係の方々のご理解とご支援をお願い申し上げます。



「花と緑ののいち椿まつり'96」(野々市町・野々市町文化協会主催)が、三月十六日・十七日の両日、文化会館ふれあい会館・郷土資料館を会場に開かれ、過去最高の一万一千人の来場者で賑わいました。

野々市町合併40周年記念
 日本椿まつり'96 in いしかわ
 (第16回全国椿サミット)
 花と緑ののいち椿まつり'96
 (心と花と愛と和のふれあい)
 をテーマに華やかに開催

今回は「日本椿まつり・全国椿サミット」と併せて開催され、日本ツバキ協会の安達諭子会長、作家の高橋治先生や、伊豆大島町長など、全国より多数の椿愛好家や市町村関係者が集い、椿談義に花を咲かせました。

平成8年度野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	安田 彦三 山田 清司 東谷 弘 飯森 又郎		常任理事	山口 正昭 金丸 直治 吉田 郁子 香城 清子	民謡協会 俳句協会 茶道協会 短歌協会
参与	松本 佐二 米林 勝二 館 惣吉 谷下 通夫		理事	栗 よし子 山田 清正 中島 康雄 野々市利男 丸山 順孝 北村 俊雄 魚住 雅一 窪田 弘	じよんから節保存会 菊花協会 椿愛好会 美術協会 音楽文化協会 盆栽愛好会 囲碁協会 将棋協会
会長	無量井 三郎	美術協会	監事	竹村 外志栄 黒保 竹吉 奥村 誠一路 安田 光男 中西 名菜子 若島 翠節 亀井 政子	社交ダンス愛好会 民謡協会 俳句協会 茶道協会 短歌協会 華道協会 読書会連絡協議会
副会長	二又 米造 鮎谷 久太郎	将棋協会	幹事	北 清志 山口 良 大久保 邦彦	
理事長	宮岸 洋二				
常任理事	村上 一夫 高橋 外茂男 佐久間 由孝 山本 晃彦 中山 栄 向田 初三郎 源野 辰一 北村 倫子 綱川 善作	じよんから節保存会 菊花協会 椿愛好会 音楽文化協会 華道協会 盆栽愛好会 囲碁協会 読書会連絡協議会 社交ダンス愛好会			

平成8年度主な事業計画

月日	事業名	場所
7月14日 ~21日	野々市町 美術展後援	フォルテ
7月15日	文化協会 だより発行	町内全戸配布
7月18日	視察研修会	羽咋市
8月1・2日	野々市じよんから まつり協賛	野々市小周辺
11月3日	文化協会表彰式	フォルテ
11月初旬	野々市町民 文化祭協賛	中央公民館 フォルテ 郷土資料館
1月7日	新春書きぞめ 大会後援	中央公民館
1月26日	文化協会創立 10周年記念事業	フォルテ
3月22・23日	花と緑ののいち 椿まつり'97	フォルテ ふれあい会館 郷土資料館

文化協会 加盟団体一覽	団体名	代表者	設立年	会員数	団体名	代表者	設立年	会員数
	1	野々市じよんから節保存会	村上 一夫	昭和35年	80名	9	将棋協会	鮎谷久太郎
2	菊花協会	高橋 外茂男	36年	68名	10	読書会連絡協議会	北村 倫子	61年 55名
3	椿愛好会	佐久間 由孝	49年	77名	11	社交ダンス愛好会	綱川 善作	61年 35名
4	美術協会	二又 米造	52年	80名	12	民謡協会	黒保 竹吉	平成元年 108名
5	音楽文化協会	宮岸 洋二	52年	150名	13	俳句協会	金丸 直治	3年 66名
6	華道協会	中山 栄	53年	154名	14	茶道協会	吉田 郁子	5年 179名
7	盆栽愛好会	向田 初三郎	54年	37名	15	短歌協会	香城 清子	7年 32名
8	囲碁協会	魚住 雅一	57年	150名		計		1386名

お気軽にお越し下さい

将棋協会

当協会の例会は、木曜日と土曜日に中央公民館で二か月サイクルで行なわれている順位戦です。A・B・C・Dの五級に分かれ新入会員はD級に所属され、リーグ戦で毎期各級上位五名が次期昇級します。対局は総て競技時計が使用され、成績は「協会ニュース」発行で報告されます。その他対局室では禁煙励行が特徴になっています。

将棋に興味をお持ちの方、自己の実力を試される方もお気軽にそっとのぞいてみてください。



庭園めぐり及

十二回全員華展

華道協会

研修旅行に庭園めぐりとして辰口温泉「まつさき」へ。今も残る安土桃山時代に作られたという見事な庭園。一万坪の庭園には樹齢三百年の老松、その下には、紅葉、紫陽花、ツツジと四季折々の風情がある落ちついた庭園を、下駄を履き散策し、情緒あふれる思いにひたりました。

又、中山新会長を迎えての第十二回全員華展が、五月十八日、十九日の両日、フォルト小ホールで開催され、八〇〇名余りの方々に鑑賞していただきました。

八一出瓶者により、伝統花、現代花と日頃の成果を会場一ぱいに漂わせる事が出来ました。

十七年間、お世話いただきました館前会長には顧問をお願いし来年の協会

二十周年を迎えるに当たり、色々アトバイスを頂き、十三回全員華展の会場作りにも工夫を凝らしたいと考えております。



地域文化の振興のため

美術協会



昭和五十二年に発足した美術協会は、年々会員数も増加し、本年は日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門で八十名が活躍し、地域文化の振興のため、研さんを積んでいます。

各人が、所属会派を超えて結束し、町美術展をはじめ町の文化行事に積極的に参加しています。

現代美術展や、中央展の出展者も多く、一年中が制作に追われる中にも年一度の研修旅行の開催など、親睦を深め明るく楽しい協会をめざしています。

今後とも、町当局をはじめ町民の皆様方のご理解とご支援をお願いいたします。

もてなしの心を大切に

茶道協会

加賀百万石の伝統に、はぐくまれ育った幾多の文化の中の一つの茶道。この頃、とみにその人口を増やしてまいりました。若者男女の別なく凡ての人が修め養うべき道だからこそでしょうか。茶道協会も設立四年目を迎え、会員相互の結束もかたく、和やかに色々の協賛行事に参加致して居ります。人との出会い即ち一会を大切に、もてなしの心を第一のモットーとして一同お茶会に臨んで居ります。この殺伐とした世相の中、私等茶道人は仄かな優しい一点の燈をともし続けて行きたいものとお念じて居ります。茶道なるものを通して、未知の事を知る機会を得るといってお持ちで、どうぞ入会を御一考なさってみては如何でしょうか。お待ち致して居ります。



まつり盛り上げ、

町民の指導にも力

石川公会



「じよんから」といえば野々市町がすぐ頭に浮かぶほど有名な同町の伝統芸能であり、毎年八月一、二日に繰り広げられる「野々市じよんからまつり」に欠かせないのが、じよんから節保存会のメンバーであります。

会場中央のやぐらの上で、最後まで生演奏でおはやしを続け、踊りの輪を盛り上げています。まつりの前には各町内会や企業の講習会に出掛け、ボランティアで指導に当たっています。昨年から会場の一隅にも指導コーナーを設け、輪に加われないでいる来場者に手ほどきして喜ばれました。「じよんからまつりは見ているだけではつまらない。一人でも多くの人に踊りの輪に加わってもらい、自分たちが楽しむまつりにしたい」と会員一同期待を込めて居ります。

花と緑のまちづくりをめざして

椿愛好会

会発足以来、会員の親睦と椿を通して花と緑の町づくりをめざしてきた当愛好会は、その間、会員協力のもとに「野々市」をはじめ「宗田」、「太平の里」、「庵の露」等の椿の品種を発表するとともに各種の大きな事業に取り組んできました。

これからは、今年度改選された新しい役員のもとに、更に会員の輪をひろげ、より活発な活動を展開しながら、椿の普及と町づくりにつとめて行きたいと思っております。

年会費 一、〇〇〇円
会員数 七十七名

風流な日々へのいざない

俳句協会

野々市町の俳句愛好者が会派をこえ



LOOK
通信

民謡は私たちの心の糧

民謡協会

民謡協会は公民館を中心とした野々市中央、富奥、郷、押野、丸木の各教室があり現在会員は百十余名参加し年々増えてまいります。

民謡はふるさとが育み、唄い継いだ大切な民俗芸能であり、美しい自然への憧れとともに生活の中の素直なよろこび、かなしみが織りこまれ、その唄は私たちの心の糧となります。私たちはすぐれた伝統文化を大切に、豊かな地域づくりをめざし活動を続け、さらに輪を広げていきたいと考えております。



民謡・民舞に興味のある方は、いつでもお気軽に御入会下さい。心よりお待ちしております。

椿に魅せられて

盆栽愛好会

今年の椿まつりは「全国サミット」もあって絶賛裡に終わりました。県外参観者の方から「盆栽の数では日本一だ」の声に……第一回の時の事が思い出されます。切花だけよりも盆栽も、との事で役員の方が遠く東海地方まで展示品を求めに奔走されました。当会では、当時何処にもないのなら椿盆栽に挑戦して展示しようではないかという事で、山野に種樹を求めて毎月の例会、研修会を通じ失敗を重ね乍ら五年、漸く本年は三十点展示しました。まだまだ風格気品とも未熟ですが一層努力して皆様に楽しんで頂きたいと意気込んで居ります。世の中が多様化して忙

しい時、長い年月と手間暇かかる盆栽は自分には向かないと思われがちですが、そこら辺りにあるどんな樹でも二、三年で結構楽しめるものです。樹が喜ぶコツを知り愛を注ぐ事です。一株の盆栽を中心にザックパランに語り合っで見ませんか。皆様の御入会をお待ちしています。



一冊の本

読書会連絡協議会

三十年の歴史のある読書会、去年できたばかりの読書会等々、五つの読書会で成り立つ読書会も今年で十一回の総会を迎えました。



六月二十日には合同読書会があり、柳田邦男著「犠牲」について話し合いました。参加者それぞれの環境、年代、個性などの違いのなかで、多くの意見が述べられました。読み手によって一冊の本は、さまざまな人生を映し出します。そこにひとりの読書とは違う楽しみがあり、共感しあえる心の出会いもあるのだと思います。これからも一冊の本を仲間にして、又新しい読書グループができるといいですね。

LOOK 加盟団

社交ダンスと「出会い」

社交ダンス愛好会

毎週火曜日に、「スロー・スロー・クイック……」と先生のカウントに合わせて、フロアいっぱい、ステップを踏んでいます。六月は親睦会として、温泉一泊、九月は「ムーンライト・ジャズオーケストラ」とチャリティダンスパーティー（十二回目）を開き、収益金は町の福祉へ、十二月はクリスマス、忘年会、年が明ければ椿まつりの練習等に心地良い汗を流しております。

映画「シャル・ウィ・ダンス」を御覧になった方も大勢いらつしやると存じますが、同じ趣味を持つ者が、同じフロアで、自分の速さで、自分のリズムで踊り、熱中する時間を持ち、本当に幸せに思います。皆様も参加しませんか。素敵な出合をお待ちしております。



大菊作り仕立方の種類

菊花協会

大菊作りは十一月三日文化の日に満開になる様に作ります。一個の鉢に七本立、五本立、三本立、一本立（切花）が有り、特種なものとしては大作りと言って一本の茎から百

短歌で有意義なひとときを

短歌協会

平成八年度より文化協会の一員となりました短歌協会です。私たちの短歌協会は現在会員三十二名です。年四回（二ヶ月に一度）例会を開き、講師の先生を囲み短歌の実作指導を受けています。毎日の生活の中で感じる心に残る事を、五七五七七の言葉に表現し有意義な時間を過ごしていきます。文化協会に入会した今年には「末松庵寺を詠む」という事で第一回吟行を盛大に行いました。吟行記念歌集を作るため会員一同、一生懸命取り組んでいく所です。



更に楽しく、良い音を求めて！

音楽文化協会

当協会も設立以来十九年、単に音楽とは言え、会員各個の愛する音楽ジャンルは実に多岐に渡り、演奏方法は勿論の事、鑑賞のしかたもずいぶん差異があります。極端に考えればある種の異業種交流とも言えます。そんな個性的な団体、個人の集合体である音文化協が今日迄活動を続けてこられたのは、「もっと良い音楽を更に楽しく！」を共通のモットーとして、会員一人一人が努力して来たという一言につきると自負しています。お陰様で現在では数ある県内各市町村の音楽関係協会団体の中でも活動の活発さ、演奏内容の質の高さ等で好評を頂いております。「音を楽しむ」という音楽の原点を改めて心にふまえ、各会員それぞれ、今年も県内各所でのパフォーマンスにそなえ日々の練習に励んでおります。

碁楽を碁一緒に

囲碁協会

碁は、上手下手に関係なく、楽しいゲームだし、趣味でも最高といえますね。碁の対局を行うことは、児童では思考力の養成を、動きのある職場では適切な決断力とストレス解消に、そして老いてはボケ防止に役立ちますよ。中央公民館での定例会（毎週土曜日の晩と日曜日の午後）にいらつしやい、お待ちしております。



野々市町文化協会表彰 文化活動の功勞・功績をたたえる

平成七年度文化協会表彰式が十一月三日（文化の日）文化協会了にて挙行され、次の八氏一団体に表彰状と記念品が贈られ、それぞれの功勞、功績が讃えられました。

平成7年度 野々市町・野々市町教育委員会表彰 文化協会・体育協会表彰 授与式



文化協会表彰

〔文化功勞賞〕

大西 政義（下林二丁目）

昭和五十三年町菊友の会入会以来、菊作りで専念され、町民への普及指導並びに苗分譲による緑化運動に貢献

永島 信幸（本町一丁目）

昭和五十四年の町盆栽愛好会設立に尽力。以来、会長など役員として会の運営・発展、後進の指導に貢献

小杉 久夫（三日市町）

昭和五十四年の町盆栽愛好会設立に尽力。以来、役員として会の運営・発展及び後進の指導、並びに町花木「榎」の盆栽の普及に貢献

藤井 四郎（本町三丁目）

昭和五十七年の町老人福祉センター「榎荘」開設以来、町囲碁協会役員・講師として町民への普及指導に尽力

〔文化振興賞〕

越野 洋子（本町二丁目）

昭和五十年より野々市じよんから節保存会会員・役員として伝統芸能の興隆と町内各地域のじよんからの発掘・保存・継承、並びに後進の指導に尽力され、町の文化振興に貢献

北市外喜子（本町一丁目）

昭和五十二年町美術協会設立以来、役員として会の運営・発展と後進の指導に尽力、町の文化振興に貢献

石沢トシ南（中林一丁目）

昭和五十三年町華道協会設立以来、役員として会の運営・発展と後進の指導に尽力され、町の文化振興に貢献

〔文化奨励賞〕

押田 華奈（押野一丁目）

第十六回全国少年少女囲碁大会中学生の部に石川県代表として出場、二回戦進出
コーラス花の輪
二十一年間にわたり、女性コーラスグループとして音楽活動を展開し、町内女性層の文化向上に寄与

また、協会表彰に先立ち、野々市町・町教育委員会の表彰が行われ、次の二氏が受賞されました。（文化協会上申分）

芸術文化振興賞

西山 恭申（新庄三丁目）

第四十一回一陽展奨励賞受賞。
町美術協会、野々市公民館洋画サークル代表として地域の文化活動に積極的に参加され、町の文化振興に貢献

社会教育功勞表彰

館 惣吉（本町四丁目）

昭和五十五年町華道協会長に就任以来、数々の花展の主宰や協賛参加をはじめ、会の育成指導に尽力されるとともに町華道文化の発展に貢献

わが協会にこの人あり 加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方をご紹介します。



野々市町椿愛好会
塩田 卓さん

昭和四十九年、椿の品種「野々市」が発表されたとき、ご指導とご協力を願ったのが石川つばき同好会であり、直接お世話になったのが当時同会の有力メンバーの一人であった町内在住の塩田さんでした。その後椿が町花木になり、町に椿愛好会を結成したときも早速役員として入会してもらい、会の運営や活動については勿論のこと、椿の栽培法や関連団体の動きなど、常日頃お教え頂いている次第です。また塩田さんは、石川県産椿の名花、玉抱、秋陽、素粧、加賀佐助、比咩唐子、白嶺、弁天露月など多くの命名者であり、椿の専門誌等の執筆もしておられます。なおその外、椿工芸品の収集もなされ、花入れとしての焼物にも造詣が深く、全国の椿に関する情報を持っておられるなど、実に椿の専門家として広くその名が知られている存在です。現在、当会の副会長をして頂いておりますが、貴重な人材を得ていることを誇りとし、更にご尽力を願いながら、会発展に向かって前進したいと思っております。（佐久間由孝記）



野々市町美術協会
書部門 勝本 睦美さん

わが協会・書部門の勝本睦美さんをご紹介します。本町一丁目のご家庭には、ご主人とお母さんとの三人でお暮らしです。勝本さんが書を習いはじめられたのは、戦後二年程たった小学生の頃で、東京から疎開して来られていた女の先生で、いつもきれいな着物をきちんと着て、子供心にもあこがれの先生だったそうです。高校卒業と同時に書を中断してこられました。結婚し、子供の手が離れた頃から再度公民館で習いはじめられました。野々市町美術協会の発足と同時に協会に参加され今日まで、各書道展の入選をかさねられ、現代美術展では、無鑑査（出品委嘱）会員として活躍されています。やさしく、さわやかな人柄で協会員の皆さんから親しまれている勝本さん。これからもお元気で活躍ください。（神田 直次記）